

日誌

日誌 04月14日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 母が病院に運ばれたため	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月14日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	

日誌

日誌 04月14日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月14日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月15日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	発表練習
	10:00	スライド
	11:00	練習
	12:00	発表
	13:00	休憩
	14:00	調剤
	15:00	調剤
16:00	調剤	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(11)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

日誌

日誌 04月15日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

＜実習目標＞

共感の言葉と的確な情報提供

＜実習内容＞

調剤

一包化

服薬指導

＜実施した内容 ・ 調べたこと＞

低用量ピル 術前4週間 術後2週間 休薬

ラロキシフェン 術前3日間休薬

下肢静脈瘤 コブができると血液が鬱滞する

バクスミー 使い方

＜考察・感想＞

今日は地域食堂で目の健康についての話をした。

加齢に伴い増加する緑内障や加齢黄斑変性は、
症状が進んでから気付いたとしても、失われた視野や視力は戻らない。

それを防ぎ、早期発見/早期治療ができるよう、

目の検査や病気に関する知識を伝えた。

発表の反省点としては、ニーズに合っていたかなということと、不安を煽ってしまっていなかったかなということと、もう少し面白い話を入れれば良かったかな

?と色々あった。けど緑内障の気づきにくさや目の健康に考えてもらうきっかけになった。緑内障や加齢黄斑変性の早期発見のために、今日の話を覚えてもらって

、少しでも早く気付いてもらえるといいと思った。

健康セミナー後は、薬剤師は患者さんが病院にかかった時だけではなく、普段から地域の方の健康を支え、見守っていく役割があると考えた。

将来、薬剤師になった時は、地域の方を支えられるように、地域の観光セミナーや

OTC薬の販売、受診勧奨などを行っていきたいと思う。

日誌

日誌 04月15日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月15日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	プレゼンでは双方向性や緩急が大事だった
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月16日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	吸入指導
	10:00	反省
	11:00	反省
	12:00	休憩
	13:00	薬歴記載
	14:00	フィードバック
	15:00	調剤
16:00	調剤	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月16日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

<実習目標>

共感の言葉と的確な情報提供

<実習内容>

調剤

一包化

服薬指導

<実施した内容・調べたこと>

アドエア ディスカス 服薬指導

低用量ピル 術前4週間 術後2週間 休薬

ラロキシフェン 術前3日間休薬

下肢静脈瘤 コブができると血液が鬱滞する

バクスミー 使い方

<考察・感想>

今日は、アドエアの吸入指導を行なった。自分の説明で患者さんが理解していない感じがして、申し訳なかった。吸入指導の際は、吸入口を開けるところなど重要でない部分は、動画で見ってもらって、吸い込む時の説明の際は言葉だけでなく、吸い込む前に息を吐くところや息を止めることを目の前でやって理解してもらおうと思った。また、何か分からないことがありますか？という質問は理解していないと難しいということで、できる限り誰にでも分かるような説明ができるように頑張りたいと思った。

日誌

日誌 04月16日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月16日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	吸入指導は、やり方を目の前で自分でやってみる。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月17日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	監査
	10:00	調剤
	11:00	服薬指導
	12:00	休憩
	13:00	一包化
	14:00	監査
	15:00	服薬指導
16:00	薬歴記載	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(10)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(10)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月17日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

＜実習目標＞

共感の言葉と的確な情報提供

＜実習内容＞

調剤

一包化

処方監査

＜実施した内容・調べたこと＞

リパーロキサバン バイエル 深部静脈血栓塞栓

ツロブテロールテープ 胸 背中 上腕

新しいテープに貼り替える時

同じところを避ける

抗菌薬 ビオフェルミンR との併用で副作用防ぐ

＜考察・感想＞

認知症の患者さんに、ベオーバが追加された処方箋を監査した。眠前の薬は一包化されていたが、ベオーバは朝食後となっていたので、認知症の患者さんに新規の薬が出ていた際は、一包化や服薬カレンダーの管理や新しい薬の伝え方など、飲み忘れや飲み間違いがなくなるような工夫が必要だと思った。また、急性期の患者さんで、抗生物質が出ている際は、これ以上悪くなると肺炎になるかもしれないという危機感をもって処方が出ている可能性がある。そのため、吸入薬の吸い方の指導や、抗生物質の飲み切りを伝えることは大切だと思った。

日誌

日誌 04月17日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	○
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月17日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	服薬指導の際に、前に出たことある薬でも、久しぶりの薬の時はしっかり用法を伝えようと思う。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月18日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	服薬指導
	10:00	薬歴記載
	11:00	薬歴記載
	12:00	休憩
	13:00	調剤
	14:00	服薬指導
	15:00	薬歴記載
16:00	調剤	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月18日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p><実習目標> アセスメントをより深く考える</p> <p><実習内容> 調剤 一包化 処方監査</p> <p><実施した内容・調べたこと> 水虫 ぐじゅぐじゅしたもの パウダースプレー 爪 剤形 はけで塗る 尿素クリーム かかと 睡眠薬 BZ系睡眠薬 8ヶ月以上の投与で離脱症状 漠然投与を避けて6~8ヶ月で休薬を考える 眠れない時に使ってもらう</p> <p><考察・感想> 睡眠薬が出ている際は、漠然投与をせずに、6?8ヶ月を目安に休薬することが、大切だと思った。離脱症状を起こりづらくするためにも、薬剤師が気付かないと、漠然と投与されている患者さんが増えてしまうと思うので、フォローアップしていくことの大切さが分かった。また患者さんへの説明方法も大事だと思った。</p>
----------	---

日誌

日誌 04月18日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月18日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	睡眠薬が処方されている患者さんには、ただ眠れていますか？と聞くのではなく、何時間ぐらい眠れているのか、朝起きてスッキリしているかなどの質問をした方が答えやすいし、睡眠の質も分かりやすいなと思った。
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月19日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況		
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月19日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	

日誌

日誌 04月19日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月19日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 04月20日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況		
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 04月20日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	

日誌

日誌 04月20日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 04月20日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	